



**宮本泰介市長 習志野市の発達支援について発表！**

**「世界自閉症啓発デー2016・シンポジウム」に出席**

至る4月9日土曜日に開催される、「世界自閉症啓発デー2016・シンポジウム」において、宮本泰介市長が習志野市の発達支援の取組みについて、シンポジストとして発表します。

この「世界自閉症啓発デー2016・シンポジウム」は、自閉症をはじめとする発達障害について知ること理解することで、その特性にあった接し方ができるよう啓発し、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を進めるために、厚生労働省と一般社団法人日本自閉症協会が主催し、平成21年より開催しています。

2016・シンポジウムは、『つながる、世界とみんなの青い光』をテーマに開催され、宮本市長は、田中八尾市長、小口塩尻市長とともに、シンポジウム1「つながる 日本の育ちと暮らし」に出席します。習志野市の発達支援の取組みとして、ソーシャルインクルージョン（社会的包容）の推進を最大のねらいとし、早期からの発達支援、組織横断的・継続的な支援体制、市民協働の施策の推進等について発表します。

この度の出席は、厚生労働省より依頼されたものです。

このようなシンポジウムで発表の機会をいただくことは、習志野市の発達支援の取組みについて、本市をはじめ全国に周知できることで、本市として一層の推進が弾むものと考えています。

日 時:平成28年4月9日(土) 10時～16時20分

場 所:全社協 灘尾ホール(千代田区霞が関3-3-2)

主 催:厚生労働省  
一般社団法人日本自閉症協会

問合せ:健康福祉部ひまわり発達相談センター 担当者 内村、山口  
電話番号047-451-2922

その他:「世界自閉症啓発デー2016・シンポジウム」のホームページをご覧ください。





参考

< 世界自閉症啓発デー公式サイト 世界自閉症啓発デー > からの抜粋

国連総会(H19.12.18 開催)において、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

日本国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えております。